



小国中だより

小国町立小国中学校
令和3年3月1日
文責 八木幸夫

学校パートナーの皆さんに感謝

2月24日(水)、学校サポーター会議を行い、今年度の活動を振り返り、様々なご意見をいただきました。新型コロナウイルス対応のために、制約の多い中での活動となりましたが、花の植栽、草むしり等、学校環境の美化に協力いただいたり、読み聞かせや畑の農業指導等の教育活動にご協力いただきてきました。頂戴したご意見を参考に、地域の皆さんとの共働を通じた学校づくりをさらに進めていきたいと思えます。

<環境パートナー>

志田やよ江さん(伊佐領) 後藤弘子さん(緑町) 加藤ミサ子さん(岩井沢)
新野節子さん(伊佐領) 本間富美子さん(小玉川) 舟山頼子さん(小玉川)
本間絹枝さん(小玉川) 大津修子さん(緑町) 西原初子さん(兵庫館)
井上みと子さん(綱木箱口) 鈴木なる子さん(小国小坂町)

6月にマリーゴールドの花植を、9月に本校の生徒や教員と一緒に除草作業を行いました。また、今年度はパートナーの方々が毎月第三週の木曜日に定例の活動を行っていただきました。学校の玄関周りの草むしりや花壇の整備やプランターの片付けなどをしていただき例年にも増してご協力をいただきました。



<読書活動パートナー>

岩沢ちかさん(田沢頭) 今野美喜子さん(岩井沢) 五十嵐秀子さん(小国小坂町)
加藤美恵子さん(小国小坂町)

7月に全クラス対象の読み聞かせ、11月に3年生を対象とした2回目の読み聞かせを行いました。読み聞かせを行う際、パートナーと生徒の間にプラスチックボードを置いたり、パートナーの方はフェイスシールドをつけたりと感染予防対策を行いました。例年とは違う環境での読み聞かせとなりましたが、生徒は絵本の読み聞かせを楽しそうに聞いていました。

来年度は図書館イベントを再開していただく予定です。



<畑のパートナー> 齋藤恒助さん（緑町）

今年度も齋藤恒助さんにご協力いただき、1年生の技術の授業で畑作りを行いました。齋藤さんには、授業の他に、おりおりにお越しいただき、畑の手入れをしていただきました。例年がない天気の影響で、畑の野菜をとっても大きく成長し、今年も沢山の野菜を収穫することができました。



白い森学習や進路学習においても、地域の皆様に講話やインタビューをお引き受けいただき、貴重な学習をさせていただきました。本校の教育活動にご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

本校は地域と共に歩むコミュニティスクールです。学校運営協議会、学校パートナー、白い森地域学校支援本部・白い森学習支援センター、後援会等、地域の皆さんが携わる組織が本校の教育活動を力強く支えてくださっています。このご支援のもと、小国中生の活躍の場を与えていただき、活躍を認めていただくことで、自信を深め、自尊感情を高めています。地域の方との交流を通して、多様で幅広い考え方や小国の伝統や文化を学んでいます。教科書や参考書からは学ぶことのできない貴重な体験が、小国中生の成長を後押ししてくださっています。また、学校環境の整備に力を貸していただくことで、環境の充実が図られています。

本校に対する小国町、小国町民の皆様のご理解、ご協力とご支援に、あらためて感謝申し上げます。

公立高等学校一般入学者選抜志願状況

2月26日（金）公立高校の一般入試の願書受付が締め切られ、志願倍率が発表になりました。米沢興譲館高校探究科、長井高校普通科探究コースは高倍率となりましたが、全体ではやや広き門となっています。

しかし、定員に満たない学校、学科でも、一定以上の学力がなければ不合格となる場合もあります。3年生には、決して油断することなく、また必要以上に緊張

米沢興譲館高校	探究	4名(1.60)
米沢東高校	普通	4名(0.91)
米沢商業高校	総合ビジネス	1名(0.63)
置賜農業高校	食料環境	1名(0.84)
南陽高校	普通	1名(0.78)
長井高校	普通（探究）	4名(1.68)
	普通（普通）	3名(0.68)

することなく、平常心で努力を続け受験本番に備えて欲しいと思います。公立高校一般入試は3月10日（水）に県下一斉に実施されます。本校3年生の志願状況は左記の通りです。

既に私立高校に15名、公立高校推薦、連携入選で17名が内定しています